

(2) 平成28年度のまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況

「広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、本県人口の将来展望等を踏まえ、人口減少問題を克服し、地方創生を成し遂げるため、「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる取組のうち、まち・ひと・しごと創生に係る施策をまとめ、今後5年間の目標等を定めた実施計画として策定した。

【まち・ひと・しごと創生の基本的な考え】

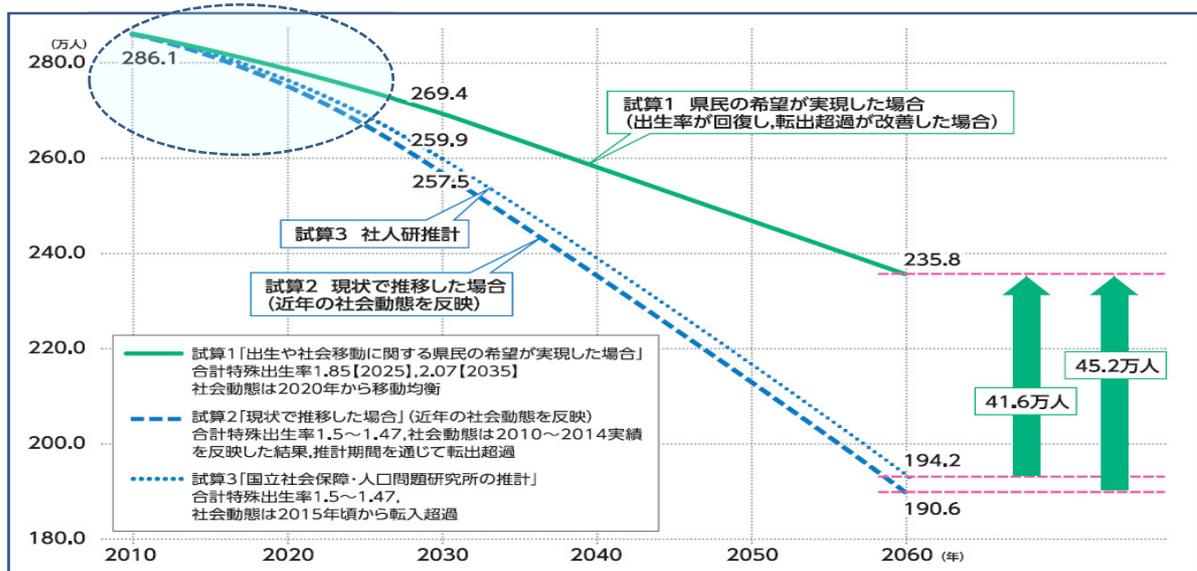
人口減少と地域経済縮小の克服

人口ビジョンにおける人口の将来展望で示すように、社会動態が均衡するなどの改善が図られたとしても、親となる世代が減少していくことから、今後数十年間の人口減少は既に避けられない状況となっている。

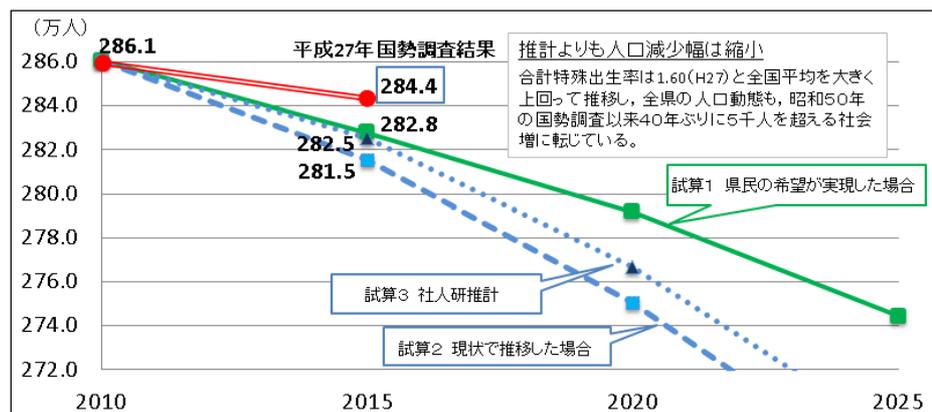
人口減少社会に対応していくためには、出生率を回復させ、転出超過を改善することで生産年齢人口の割合を高め、将来にわたって持続可能な人口構造を再構築していくことが必要であり、併せて人口減少に対応できる効率的な社会システムづくりを進める必要がある。

こうしたことから、チャレンジビジョンに掲げる目指す姿の実現に向け、人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるためには、経済(しごとの創生)、人口(ひとの創生)、地域(まちの創生)の課題に対して一体的に取り組むことが重要である。

【人口ビジョンにおける人口の将来展望】



平成27年(2015)
国勢調査結果
(2010~2020 拡大図)



○ 「しごと」の創生

「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まずは、地方における「しごと」の創生に取り組む必要がある。

今後の生産年齢人口の減少や国内マーケットの縮小等に対応していくため、イノベーションによって、新たな価値を創造し、企業の付加価値・競争力を向上させる取組等を行うことで、新しい産業が次々と生まれ育ち、安定した雇用が創出される環境づくりを進めている。

また、地域への経済波及効果の大きい観光については、瀬戸内海・中国山地の豊かな自然や、特色ある歴史・文化・食など、多彩な地域資源の価値向上の取組を推進している。

施策体系

しごと創生

(新たな経済成長)

(1) 産業イノベーション

(3) 観光

(2) 農林水産業

(4) 交流・連携基盤

基本目標

▶ イノベーションを通じて魅力ある雇用を創出する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	H27 までの実績		平成 28 年度		
			年度	実績	目標	実績	進捗状況
就業率	31	56.8%	56.7%	27	56.6%	57.2%	達成
「就職」を理由とした転出超過数	31	転入超過	1,741 人 (転出超過)	27	1,305 人 (転出超過)	1,702 人 (転出超過)	未達成

取組一覧

全KPI数 (A)	達成指標数※ (B)	未達指標数 (C)	実績未確定 (D)	達成率 (B/(B+C))
48	28	13	7	68.3%

※「概ね達成」したものを含む

- I-①-1 創業や新事業展開の創出(ワークNo.29①)
- I-①-2 産学官のパートナーシップ構築と多様な交流の促進(ワークNo.29②)
- I-①-3 産学共同研究の促進(ワークNo.29③)
- I-①-4 多様な投資の促進(ワークNo.29④)
- I-②-1 資金的支援による研究開発の促進(ワークNo.30①)
- I-②-2 公設試験研究機関の技術開発によるものづくり企業の活性化(ワークNo.30②)
- I-②-3 航空機関連産業の育成・受注獲得に向けた企業活動の活性化(ワークNo.30③)
- I-②-4 感性工学を活用したものづくりの活性化(ワークNo.30④)
- I-③-1 医療関連産業の育成によるクラスター形成(ワークNo.31①)
- I-③-2 環境浄化関連産業の育成によるクラスター形成(ワークNo.31②)
- I-④-1 海外ビジネス展開の活性化(ワークNo.32①)
- I-⑤-1 イノベーション人材等の育成・確保(ワークNo.33①)
- I-⑥-1 技能人材の育成・確保(ワークNo.34①)
- I-⑦-1 県産農産物のシェア拡大(ワークNo.35①)
- I-⑦-2 生産者と消費者・多様な事業者との連携(ワークNo.35③)
- I-⑦-3 担い手への農地集積(ワークNo.35④)
- I-⑦-4 担い手等の確保・育成(ワークNo.35⑤)
- I-⑧-1 広島県産和牛の生産拡大・畜産物の販売力強化(ワークNo.36①)
- I-⑨-1 競争力のある県産材の供給体制の構築(ワークNo.37①)
- I-⑨-2 森林資源の循環利用(ワークNo.37②)
- I-⑨-3 林業従事者の確保・育成(ワークNo.37③)
- I-⑩-1 瀬戸内水産資源の増大(ワークNo.38①)
- I-⑩-2 かき生産体制の構造改革(ワークNo.38②・75②)
- I-⑩-3 漁場環境の整備(ワークNo.38③)
- I-⑩-4 担い手の確保・育成(ワークNo.38④)
- I-⑪-1 観光地の魅力向上(ワークNo.39①)
- I-⑫-1 おもてなしの充実等による満足度の向上(ワークNo.40①)
- I-⑬-1 外国人観光客の増加(ワークNo.41①)
- I-⑭-1 広島空港(国際線)の利用拡大(ワークNo.42①)
- I-⑭-2 広島空港(国内線)の利用拡大(ワークNo.43①)
- I-⑭-3 港湾(国際航路)の利用拡大(ワークNo.42②)
- I-⑭-4 クルーズ客船の誘致(ワークNo.42③)
- I-⑮-1 広域道路網及び物流基盤等の整備(ワークNo.43③)

○ 「ひとの創生」

地方への新しい「ひと」の流れをつくるため、「しごと」の創生を図りつつ、若者の地方での就労を促すとともに、地域内外の人材を積極的に確保・育成し、地方への移住・定着を促進するための仕組みの整備を進めている。

また、若い世代が結婚や子育てに夢を持ち、出産や家族形成に対する各々の希望を実現し、仕事と生活を両立できる環境整備を推進している。

施策体系

ひとの創生

(人づくり)

(1) 少子化対策

(4) 人の集まりと定着

(2) 女性の活躍

(5) 教育

(3) 働き方改革

(6) 多様な主体の社会参画

基本目標

- ▶ 広島で「学ぶこと、働くこと、暮らすこと」の魅力を高め、広島への新しいひとの流れをつくる

成果指標・目標	達成年次	全体目標	H27までの実績		平成28年度		
			年度	目標	実績	進捗状況	
転出超過数	31	転入超過	3,052人(転入超過) 日本人 転入超過数 412人 外国人 転入超過数 2,640人	27	転入超過	1,493人(転入超過) 日本人 転出超過数 1,865人 外国人 転入超過数 3,358人	達成

- ▶ 「ファミリー・フレンドリーな広島県」を実現し、少子化に歯止めをかける

成果指標・目標	達成年次	全体目標	H27までの実績		平成28年度		
			年度	目標	実績	進捗状況	
若い世代(25～39歳)の有配偶者率	32	女性 63.2% 男性 53.5%	女性 59.0% 男性 49.8%	27	女性 59.8% 男性 50.5%	【次回調査 H32】	—
子育てに楽しみや喜び・生きがいを感じる人の割合	31	88.0%	76.0%	27	82.0%	70.3%	未達成
いつでも安心して子供を預けて働くことができる環境が整っていると思う人の割合	31	70.0%	(保育) 50.0% (学童保育) 50.7%	27	60.0%	(保育) 52.4% (学童保育) 52.0%	未達成

取組一覧

全KPI数 (A)	達成指標数※ (B)	未達指標数 (C)	実績未確定 (D)	達成率 (B/(B+C))
39	17	15	7	53.1%

※「概ね達成」したものを含む

- Ⅱ-①-1 有配偶者率の向上(ワークNo.01①)
- Ⅱ-①-2 妊娠を希望する者に対する支援の充実(ワークNo.01②)
- Ⅱ-①-3 安全・安心な出産体制の確立(ワークNo.01③)
- Ⅱ-②-1 いつでも安心して預けられる保育環境の確保(ワークNo.03①)
- Ⅱ-②-2 いつでも安心して預けられる学童保育環境の確保(ワークNo.03②)
- Ⅱ-③-1 子供と子育てにやさしい生活環境づくり(ワークNo.04・05①)
- Ⅱ-④-1 男女が共に育児へ積極的に参加する社会の構築(ワークNo.06①)
- Ⅱ-⑤-1 女性の就業率の向上(ワークNo.07①)
- Ⅱ-⑥-1 男女共同参画社会づくり(ワークNo.08①)
- Ⅱ-⑦-1 多様な働き方に取り組む企業の増加(ワークNo.09・10①)
- Ⅱ-⑧-1 県外からのU/IJターン転入者数の増加(ワークNo.11・13①)
- Ⅱ-⑨-1 若年者の就業者数の増加(ワークNo.02・12①)
- Ⅱ-⑨-2 職業訓練による就業率の向上(ワークNo.02・12②)
- Ⅱ-⑩-1 多様な人材の集積を促進する活躍環境の創出(ワークNo.11・13②)
- Ⅱ-⑪-1 大学進学時における転出超過の改善(ワークNo.15①)
- Ⅱ-⑫-1 県内大学との連携による留学生の受入促進(ワークNo.16①)
- Ⅱ-⑫-2 留学生の県内企業への就職等による定着(ワークNo.16②)
- Ⅱ-⑬-1 幼児教育の充実(ワークNo.17①)
- Ⅱ-⑭-1 コンピテンシー育成に向けた先進的な教育環境の整備(ワークNo.18①)
- Ⅱ-⑭-2 グローバル・マインド、実践的なコミュニケーション能力の育成(ワークNo.18②)
- Ⅱ-⑮-1 社会が求める人材の育成(ワークNo.23①)
- Ⅱ-⑮-2 地域に貢献できる教育研究の充実(ワークNo.23②)
- Ⅱ-⑯-1 キャリア教育の推進(ワークNo.24①)
- Ⅱ-⑯-2 実践的な職業教育の充実(ワークNo.24②)
- Ⅱ-⑰-1 高齢者の地域活動の増加(ワークNo.26①)
- Ⅱ-⑰-2 高齢者の就業者数の増加(ワークNo.26②)
- Ⅱ-⑱-1 障害者の就労機会や雇用の拡大(ワークNo.27①)

○ 「まちの創生」

「しごと」と「ひと」の好循環を支えるためには、人々が地方でのライフスタイルの素晴らしさを実感でき、安心して暮らせるような、「まち」づくりを進め、広島県が内外から魅力ある地域として選ばれ、県経済の活性化にもつながる好循環を生み出す環境整備を推進している。

施策体系

まちの創生

(豊かな地域づくり)

(1) 魅力ある地域環境

(2) 瀬戸内

(3) 中山間地域

(4) 平和貢献

(安心な暮らしづくり)

(5) 医療・介護

(6) 健康

基本目標

➤ 都市と自然の近接ライフの魅力や地域特性、資源を生かして活力を創出する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	H27までの実績		平成28年度		
			年度	目標	実績	進捗状況	
日経リサーチ「地域ブランドランキング」(全国順位)	32	8位以内	12位	24	8位	— ※	—
瀬戸内7県の外国人延宿泊者数	32	360万人泊	260.3万人泊	27	171万人泊	291万人泊	達成
地域づくり活動をリードする人材の育成	32	360人	—	—	70人	70人	達成
平和に関する人材、知識・情報、資金などを集積して、継続的な平和活動を可能とする仕組みの事業推進主体としてのセンター機能の方向性の具体化	31	センター機能の方向性の具体化	—	—	センター機能の方向性の整理	センター機能の方向性の整理	達成

※ 日経リサーチ「地域ブランドランキング」は調査終了のため、平成28年度の実績測定不可。

なお、平成29年度から「地域ブランド調査魅力度ランキング」(ブランド総合研究所)全国順位に指標を変更している。

【参考】地域ブランド調査魅力度ランキング 平成27年度15位 → 平成28年度23位

➤ 安心して暮らすことができる生活基盤を確保する

成果指標・目標	達成年次	全体目標	H27までの実績		平成28年度		
			年度	目標	実績	進捗状況	
地域包括ケア実施日常生活圏域数(評価指標による評価が基準を満たす圏域)	29	125日常生活圏域	49圏域	27	85圏域(H26~28累計)	98圏域(H26~28累計)	達成
がん検診受診率(胃, 肺, 大腸, 子宮, 乳)	31	全て50.0%以上	胃:40.5% 肺:41.3% 大腸:37.2% 子宮:43.9% 乳:43.0%	25	全て50.0%	胃:40.5% 肺:42.1% 大腸:38.8% 子宮:40.2% 乳:40.3%	未達成

取組一覧

全KPI数(A)	達成指標数※(B)	未達指標数(C)	実績未確定(D)	達成率(B/(B+C))
48	25	14	9	64.1%

※ 「概ね達成」したものを含む

- Ⅲ-①-1 「ひろしま」ブランドの価値向上(ワークNo.68①)
- Ⅲ-②-1 文化・芸術に親しむ環境の充実(ワークNo.69①)
- Ⅲ-②-2 優れた文化遺産や伝統文化に触れる機会の充実(ワークNo.69②)
- Ⅲ-②-3 スポーツ競技力の向上(ワークNo.19①)
- Ⅲ-②-4 スポーツ・レクリエーションに親しむ環境の充実(ワークNo.69③)
- Ⅲ-③-1 多様な人材を惹きつける魅力的な地域環境の創出(ワークNo.70①)
- Ⅲ-④-1 中枢拠点都市等の活性化(ワークNo.71①)
- Ⅲ-④-2 道路網の整備による利便性向上(ワークNo.71③)
- Ⅲ-④-3 広域的な交通ネットワークの最適化(ワークNo.71④)
- Ⅲ-⑤-1 観光ブランド「瀬戸内」の実現(ワークNo.73①)
- Ⅲ-⑥-1 地域における「つながり力」の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり(ワークNo.76①)
- Ⅲ-⑥-2 地域の次代を担う人材の育成(ワークNo.76②)
- Ⅲ-⑦-1 持続的な農業生産活動の実現(ワークNo.77①)
- Ⅲ-⑦-2 地域「しごと創生」に向けたチャレンジ支援(ワークNo.77②)
- Ⅲ-⑧-1 へき地医療に係る医師等確保(ワークNo.78①)
- Ⅲ-⑧-2 へき地医療に係る医療連携体制の確保(ワークNo.78②)
- Ⅲ-⑧-3 持続可能な生活交通体系の構築と生活航路の維持(ワークNo.78③)
- Ⅲ-⑧-4 中心地と周辺地域等との連携を支える基盤の整備(ワークNo.78④)
- Ⅲ-⑨-1 持続可能な平和支援メカニズムの構築(ワークNo.81①)
- Ⅲ-⑩-1 医療資源の効果的な活用(ワークNo.44①)
- Ⅲ-⑪-1 広島都市圏の医療提供体制の効率化・高度化(ワークNo.46①)
- Ⅲ-⑫-1 在宅医療連携体制の確保(ワークNo.45①)
- Ⅲ-⑫-2 認知症サポート体制の充実(ワークNo.45④)
- Ⅲ-⑫-3 介護サービス基盤の整備(ワークNo.45②)
- Ⅲ-⑫-4 介護サービスの質向上と適正化(ワークNo.45③)
- Ⅲ-⑬-1 医師の確保(ワークNo.47①)
- Ⅲ-⑬-2 看護師等の確保(ワークNo.47②)
- Ⅲ-⑭-1 介護人材の確保・育成、定着(ワークNo.48①)
- Ⅲ-⑮-1 健康な県民の割合の増加(ワークNo.49①)
- Ⅲ-⑯-1 がん予防(ワークNo.52①)
- Ⅲ-⑯-2 がん検診受診によるがんの早期発見(ワークNo.52②)